

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成25年 1月21日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	中性子計装系局部出力領域モニター検出器点検による絶縁抵抗測定において、検出器(6個)に絶縁不良が認められたため、当該検出器を点検・調査。	GⅢ	
2	2号機	残留熱除去系低圧注水モード注入テスト可能逆止弁Bの弁均圧用位置検出スイッチの絶縁抵抗測定において、絶縁不良が認められたため、当該位置検出スイッチを交換。	GⅢ	
3	2号機	直流電源設備の定例点検による24Vバッテリー2A-1 No. 3セルの比重測定において、管理値を下回ることが確認されたため、対応検討。	GⅢ	
4	2号機	制御棒駆動系制御棒駆動機構(O2-27)の「制御棒駆動機構部温度高」警報発生頻発が認められるため、対応検討。	GⅢ	
5	3号機	残留熱除去機器冷却海水系ポンプB点検において、上下シャフト連結用リーマボルトに浸食が認められたため、当該ボルトを交換。	GⅢ	
6	3・4号廃棄物処理設備	焼却設備排ガスフロアの分解点検において、本体ペローズ内部カバー(円筒状の部品)が腐食による剥がれ落ちが認められたため、当該部品を回収するとともに対応検討。	GⅢ	